

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「地域のつくりかたの学校『地方を舞台にした未来の学びをデザインしよう』第1回開催！



企画のつくりかたの学校
「地方を舞台にした未来の学びをデザインしよう」

第1回 『地方を舞台にした研修プログラムのポイント学ぶ』
9月20日(水) 19:00-

第2回 『学びのプログラムデザイン実習』
10月4日(水) 19:00-

【参加対象】高知市外在住の方 【実施方法】オンライン

「未来の学び」を
学んで実践しよう!!

鏡川流域関係人口講座の第3期にあたる「かがみがわフェスタ」では、開催期間を含む約4カ月間で、地域情報の編集などを行うための講座を開催します。

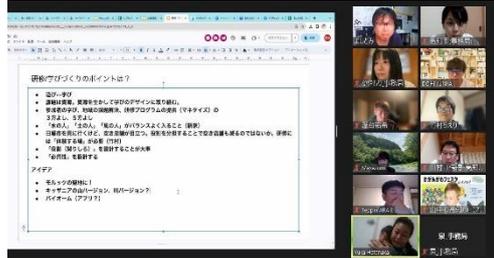
鏡川流域外関係人口講座として、9月20日(水)と10月4日(水)の2日間で、「地域のつくりかたの学校『地方を舞台にした未来の学びをデザインしよう』」をオンラインで開催します。

今回は、20日(水)の第1回目の講座の様子をお伝えします。

ホスト講師の土肥潤也さん(ファシリテーター、「みんなの図書館さんかく」館長など)の進行で、ゲスト講師の吉富慎作さん(NPO法人土佐山アカデミー事務局長)から、鏡川流域を舞台にした研修のポイントや効果についてのお話を伺いました。流域外から約10名の参加があり、参加者の皆さんは、高知市土佐山地域での暮らしの様子や、**地域課題を資源と捉え学びの要素に変える**土佐山アカデミーの研修プログラムについてのお話から気づきを得たようです。



参加者の皆さんは、地方での研修プログラムを考えるワークに挑戦しました！吉富さんから、土佐山アカデミーの学びの中心となる考え方は、**学びと遊びの境界線をなくし、社会や環境のあらゆる変化を面白がる心構え**というお話を聞いていたおかげが、ワークの中でも、学びと遊びが一体となったアイデアが次々と生まれました。



フィンランド発祥のスポーツ「モルック」の開催や、高知市など多数の自治体が導入を進めるスマホアプリ「Biome」の活用といったアイデアが、鏡川流域で実現されるのを楽しみにしています♪



かがみがわフェスタ
ミートアップ Weekly
9月21日
毎週水曜
20:00~21:00
オンライン開催
(Zoom)



【かがみがわフェスタ/ミートアップ weekly (9月21日)】に参加しよう！
+1000 もらう

まだ高知市や鏡川を訪れたことがない方はぜひ、**毎週木曜夜のオンライン交流会「かがみがわフェスタ weekly」**にご参加ください☆

参加者同士で交流しながら鏡川流域の情報交換ができるほか、アイデアのブラッシュアップにもつながります！まちのコイン「ぼっちり」を使えば簡単に参加でき、ぼっちりももらえます！

ミーティング ID: 859 0514 9206
パスコード : 010353



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。「まちのコイン」のインストール

鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。
<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>



iPhone Android